

おすすめウォーキングルート入り



岡山市吉備中学校区
(吉備・陵南学区)



犬養木堂記念館



作成者一同の思い

「ええとこ発見図」とは、自分たちの住んでいる地域のええとこ(いいところ)を盛り込んだウォーキングマップです。地域を何度も歩き、話し合いを重ねる中で、普段見過ごしていた大切な地域資源を再確認しました。いろいろな人と知り合い、お互いを認め合うことで、地域に住む人の「ええとこ(いいところ)」も再発見しました。この「ええとこ発見図」が、健康づくりに活用され、地域への愛着や人と人との絆をますます深めるきっかけになることを願っています。

平成28年3月
健康市民おかやま21(第2次)

話せばわかる木堂コース



①三玉宮

腰折様ともいい、伝承では昔戦いで腰を痛めた武士が敵に追い詰められた際「祀ってもらえれば、腰の病に霊験を与える」と言い残した。地域の人が祭り、腰痛に霊験ありと信仰されている。



②須佐之男神社

中撫川の「八幡宮」と並び氏神様の1つ。両宮とも昔吉備津神社が火災の折、神宝を避難させた仮宮の跡。「厄神社」とも。「輪くぐり神事」があり地域民の信仰が深い。



③木堂生家

この地方で代々、大庄屋や郡奉行を勤めていた犬養家の旧家を復元。【岡山県史跡】【国重要文化財】に指定されている。



④大賀一郎博士顕彰碑

大賀一郎博士は、2000年前の古代蓮の実からの発芽を成功させた理学博士。偉業をたたえる顕彰碑が生誕地にある。



⑤真如院

東林山明仙童寺真如院。本尊の「木造阿彌陀如来立像」の頭部内に開眼墨書があり、【県重要文化財】に指定されている。

のんびり田園コース



①坂崎出羽守供養塔

見過ごしてしまうほど朽ち果てた姿の供養塔。坂崎出羽守とは宇喜多忠家の長男(宇喜多秀家は従兄弟にあたる)で、この地方の干拓に尽力した人物として伝えられている。



②白石石清水八幡宮

笹ヶ瀬川にほど近い田園風景の中にひっそりと佇む地元の守り神、建武年間(1335年頃)の創建と伝えられている。旧津高郡白石村鎮座八幡宮、通称「はちまんさん」。



③笹ヶ瀬川水位計

平成20年3月に護岸改修工事に合わせて設置された。笹ヶ瀬川の水位を一年365日、24時間見張ってくれている防災面で非常に重要な設備である。ここでの水位を基に避難準備・避難勧告などの警報・注意報が出されている。

大賀ハスと城址めぐりコース



①常夜灯

庭瀬港は、鎌倉時代から内陸の港として栄えており、元禄13年(1700)頃「木造常夜灯」が建てられた。昭和29年台風で倒壊したが、再建を望む声が高く平成19年に再建された。



②観音堂

松林寺十世鶯山(ごうざん)和尚(画僧で有名)の開山で、伝恵心僧都(えしんそうず)作の「観音菩薩像」を本尊として安置。後に地名となり、毎年「まちかど博」で参拜できる。



③大賀ハス

昭和26年(1951)、千葉市の東大検見川厚生農場の地下5mから合計3粒の古代蓮の実を発見し、翌年開花に成功した。大賀博士の業績は数多く、蓮の研究は60年を費やされた。



④撫川城址

永禄2年(1559)、備中成羽城主の三村家親(元親)が沼地に築いた「沼城」が基となっている。その後、宇喜多氏の領有となり、中心は二ノ丸(庭瀬城)に移った。延宝2年(1679)、戸川達富が五千石を知行した時、城郭を割り本丸と三の丸を合わせて撫川城を中心に陣屋を設けた。



⑤道標

昔の「案内標識」。この地区は、昔の「鴨方往来」「金毘羅往来」として栄えており、多くの道標が残っている。挟川の大型道標をはじめ、旧庭瀬港跡・大橋地内・西向・定杭・東山など。

国境を歩いてみようコース



①三升橋と延友港跡

旧延友港手前の橋。足守藩・浅尾藩からの駄賃が、米俵一俵につき三升であったため名付けられた。この港で、帆船から小舟へ荷を積替えて、庭瀬港まで来っていた。



②毘沙門天

高松城水攻めの後、領主岡豊前守が庭瀬沖の干拓をした第一期工事の南端で、自然石に刻んだ「毘沙門天」など「七福神」が祀られており、庭瀬・延友の境界で、道標も建てられている。



③茵崎神社

天正14年(1586)、岡豊前守が干拓用築堤の際の出城跡といわれ、延友村の氏神様が祀られている。本尊に「貞享四年丁卯九月廿日(1687年)と墨書あり。

吉備の中山史跡コース



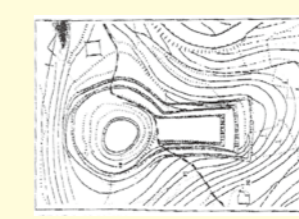
①福寿山 立成寺(日蓮宗)

慶長年間、備前幸川に開創され、開山は恵性院日通大徳である。かつては、備中庭瀬大坊不變院の末寺であった。現在の本堂は、当地に中興十四世浄明院日耀(弘化四年)に建立された。山門は庭瀬城の御門を移築。



②題号山 妙傳寺(日蓮宗)

日戒が450年あまり前(永禄のころ)に備前尾上に建立し、のち当地に移築したとされている。



③尾上車山古墳

この古墳は、聖なる山吉備の中山の一角、標高45メートルの尾根上にある国指定史跡の大型前方後円墳。三段に構成され全長約135メートルで、4世紀中ごろの築造。被葬者はこの地を握っていた海人の首長と考えられる。「岡山県史(考古資料)」より。---は国境線。左は備中、右が備前。



④帝釈天

平安後期、平家打倒の謀議を行った鹿ヶ谷事件に加わり、平清盛に捕えられた大納言 藤原成親が、帝釈天庚申を信仰していた為、後に正法寺の住職が建立したものである。210段の石段がある。



⑤正法寺

平安後期、鹿ヶ谷事件で非業の死を遂げた大納言藤原成親の菩提を弔うため元和2年(1616)智円院日泉上人が開基しました。



④国境石

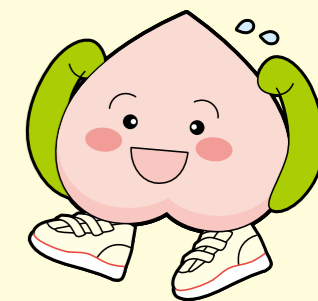
備中・備前の国境の境目川に設けられた国境石。元禄15年(1702)備前久米村と備中延友村が境界争い、5年後和解し、13カ所26本の境杭が打たれた。今は3カ所4本が残る。

作成団体名

- 吉備・陵南いきいき21推進委員会
- 吉備学区愛育委員会
- 陵南学区愛育委員会
- 陵南学区安全・安心ネットワーク
- 吉備学区栄養改善協議会
- 陵南学区栄養改善協議会
- 運動推進普及委員
- 岡山市立吉備公民館
- 岡山市北区中央地域包括支援センター
- 岡山市北区中央保健センター

自然と歴史と文化のまち「吉備」「陵南」を歩いてみよう!

みんなで運動しよう!



健康市民おかやま21キャラクター ももちゃん

～ええとこ発見 みんなで歩こう～

	話せばわかる木堂コース	約5.3km
	大賀ハスと城址めぐりコース	約2.3km
	吉備の中山史跡コース	約4.5km
	のんびり田園コース	約4.5km
	国境を歩いてみようコース	約5.4km

- 歩数計がなくても安心!
目安:1万歩 = 100分
- 歩数の計算法
歩いた時間 (分) × 100 = 歩数
- 消費カロリー計算
消費カロリー = 歩行距離 (km) × 体重 (kg) × 1/2

